様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　１０月１０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401353
事業所名	グループホーム名古屋尾崎山の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	当初は利用者と一緒に回覧板を隣に届けて社会参画を図っていましたが、現在は届け先が職員の自宅となり行かなくなっています。七夕には職員の知り合いが笹の葉を届けてくれるなど周囲の協力が日常的にあり、また3つのボランティアチームにも親しまれ、小学校のふれあい給食会や運動会行事のお招きもあったもののすべて中止となり、現在は外気浴を通じた挨拶程度の交流に留まっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は法人内の事業所と合同でおこなうことがあります。コロナ禍の影響ではなく、昨年来から運営推進会議が隔月開催できておらず(年6回開催は順守している)、6月･7月･8月で連続開催となっていることは課題ですが、6月は「エスケープ」、8月は「脱水と食事の話」について薬剤師、管理栄養士から講話を得るなど、学びの場として昇華しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	毎日「名古屋介護ネット」と「介護保険の最新情報」を確認するようにしており、情報は主にネット配信から得ています。生活保護受給者を6名受け入れており、普段から介護福祉課の担当職員とは密に連絡を取り合っています。保護が必要な人を上限なく受け入れていることから、困難事例やその類のことは随時入っていて、「まるで駆け込み寺のよう」です。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍となってからの面会は感染対策をしつつも、なるべく顔が見えるよう配慮するとともに、電話でのやりとりを増やしています。利用者との会話では職員がアプローチすることで要望が引き出せることが間々あり、「そろそろ〇〇さんが好きなホタルイカの時期ですね」との投げかけから「食べたい」「では！」と管理者が購入に走り、その日の食卓に並んで「おいしい」と喜ばれた、との例もあります。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										